

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 24 年 12 月 14 日(金)19:30～20:00
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 5名 欠席委員数 2名
出席委員の氏名 : 深田 剛/別府 美加代/中村 修/浜地 龍介/和田 美智子
欠席委員の氏名 : 泉 力/里井 大起
放送事業者側出席者 :7名
丸田 泰史/中原 優子/元井 庸介/上野 紋/渡 武志/渡 陽子/宮田 愛

4 議題

審議(「イモリーナ×イモリーナ」について)

5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 審議(「イモリーナ×イモリーナ」について)
- (3) その他の意見など
- (4) 次回の審議議題について

6 審議内容

- (1) 泉委員、里井委員の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(イモリーナ×イモリーナ)

深田委員長

今回、和田委員が、出席されています。(台風による)水害に遭われ、大変な中でしたが、やっとの復帰で、お疲れ様でしたと言っているのか・・・、お待ちしております。

和田委員

ありがとうございます。やっと元どおりになりましたので、またよろしくお願ひ致します。

深田委員長

では、第 35 回のあまみエフエム番組の審議を始めたいと思います。先ほど丸田さんより欠席者ということでご案内があったとおり、泉委員と里井委員はどうしても抜けられない用事があり、残念ながら出席できませんでしたが、ここにいる委員で今年最後の番組審議会となりますので、有意義なお話ができればと思います。ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

今回は「イモリーナ×イモリーナ」という番組についての審議ですね。番組放送時間帯は毎週木曜日 21 時から 60 分の番組です。再放送は毎週水曜日の 21 時から 60 分です。内容は、あまみエフエム 上野紋さんがパーソナリティを勤め、「世代を超えてシマッチュをつなごう！」をコンセプトに、2012 年 4 月にスタート。島で暮らしている人に焦点を当てながら「島を一度出て帰って来て暮らしている」「島を離れて暮らしている」「島を出る前の中高生」など、シマッチュそれぞれの立場から経験談や相談などをざっくばらんに話せる番組を目

指しています。

今回も(サンプルとして配られている)CDを聞いていただいたと思いますが、ご感想や、逆にあまみエフエムさんへのご質問等があったら是非よろしく願いいたします。

浜地委員

イモリーナ×イモリーナ、すごく好きな番組です、率直に言って。ただ、夜 9 時ということで、家にいる時間のため、あまり聞く機会がないのですが、仕事で遅い日が(放送日である)木曜日だったら車の中で聞いたりして、楽しいな、というのが率直な意見ですね。今日の朝の番組での話題で、番組に出演していた、ダイヤ君とセイヤ君、その子達の話題が出ましたよね。(一放送局 はい、メールが来ていたので。)

(サンプルとして配られている)CDで出ていたあの子たちだ、と。知っていればすごく楽しいと思いました。

あと、コンセプトが、「島を一度出て帰ってきて暮らしている」「島を離れて暮らしている」「島から出る前の中高校生」、というのですが「島を出ないで、島にいる子」にも、そういうのがあっていいのではないかと。島に住んでいる子が、「島から出なかったら僕だめなのかな?」、とか思ってしまうのではないかと。「島に住んでいたから良かったこと」とかあるのかな、と思ったので。そういったのもあっていいのではないかなと。あと番組に出演していた風雅君がどういう感想だったのかかと思いました。楽しかったですし、本人がいて、本人がどういうコメントをするのかとか聞いてみたかったかなと。アナウンスも楽しいと思いました。面白かったです。

時間帯的には、再放送が昼間でもできればなと思いました。継続して聞きたいなと思います。

深田委員長

今、浜地委員から時間のことが少しでしたが、あまみエフエムさんに質問ですが、21 時という時間帯の設定の狙いなどありましたら教えてください。また曜日の設定についても何かありましたらお願いします。

一放送局 上野

あまみエフエムの生放送が 19 時までで、一番に放送を届けたいのは、島を出る前の中高校生ということが大きかったので、夕方帰ってきて、ご飯を食べて、自分の部屋でラジオをつけられる時間帯を探して 21 時にしたということがあります。再放送も同じ理由で、水曜日の再放送をたまたま聞いて、次の日(の木曜日の本放送)も聞いてみようかなというように、翌週分にアクセスしやすいように一週間遅れで、今のところ放送しています。

本放送の曜日設定については、「絶対に木曜日でない」ということではないのですが、週のはじまり、終わりといった、イベントめいたところより、日常に近いところを意識しています。

中村委員

たまたま、本放送、再放送共に時間帯設定と曜日設定の都合が合い、この一週間で3週間分聞いて、そのあとCDを聞いたので、6週間分きけました。実を言うとそれまでは一回も聞いたことなかったのですが。

思ったのが、リスナーさんと電話で(話しながら番組進行を)やるのがメインな番組なのかなと思いました。話とか、聞いていたら、自分が若い頃聞いていた深夜番組みたいで、懐かしいなと思いました。KBCとか、福岡放送とか。こんな感じだったなと、高校生のうきうきした感じが伝わってきました。

ただ、高校生のウキウキ感がある反面、自分は番組には入り込めない、というのがあったりしました。高校生としては楽しいのだろうけど、ある程度年代のいった方には、1 時間聞くのは辛いだろうなと思いました。自分はちょっと途中できついなと思ったのもありました。自分に興味があるところには食いつくけど、自分には興味がな

い話はどうでもいいや、となってしまうたり。この番組に関しては、興味がわく、わからないの、世代間で差がでるのではないのでしょうか。世代をこえて島うちゅをつなぐ、というコンセプトは、自分は最初、若い世代と年がいった世代との交流かな、と思っていたのですが、若い世代だけなのかな？と感じ、コピーと番組内容が一致しないのはなぜだろう、と思いました。

ほんわかした1時間なのですが、笑ったとか、感動したとか、泣いたとか、わかりやすくはないなと思いました。他の番組がコンセプトがはっきりしすぎて、時間の尺の違いがあるけれども、コンセプトが少しぼけていないかなと思いました。誰かに、「イモリーナ×イモリーナ」ってどんな番組？って聞かれたらうまく説明できないというか。もう少し分かり易い方がいいかなと感じました。

楽しくはあるけれども、インパクト的にはどうかと、正直感じました。

深田委員長

中村委員は、60分ほんわかしたい感じとおっしゃっていましたが、時間的なイメージについてどう思いましたか？6週間分聞かれているのでぜひ聞いてみたいです。

中村委員

音楽も若者的には良いチョイスをされていて、自分もいいなと思ったのもあり、それがちょこちょこ挟まれているので、尺的にはもう終わったのか、という感じでした。(番組に出演している)西平さんも引っ張ってあげている感じでいいです。いかんせん対象が若者向けという気がしたので、私など、聞いていてどうかと思いました。

和田委員

失礼な話ですが、この番組を一度も聴いたことがなく、初めて聞きました。聞きながら、どの年代を対象として絞っているのかな、ということ疑問に思いました。聞いていて、こういう番組なんだと分かったのですが。

平瀬マンカイやショチョガマ(奄美の伝統行事の名前)に行ったというお話がありましたが、これは“拾える”番組だと思いました。島にとっては、シマの伝統文化を伝達する場というのが、こういう場でもあり得るのかと。島の伝統行事である、アラセツ行事、シバサシ、十五夜など、昔は、シマにいて、そういう伝統行事について物知りのじいちゃんばあちゃんが教えてくれ、準備などをするものでしたが、そういった方々も少なくなっているのか、こういう番組のなかで、そういったことを伝達できたのではないかと思ひ、これはいいなと思いました。こういった風に、伝統行事などについて何月何日にどこで何がありますよ、などと、この番組でちらっと流すことで、みんなが島の文化に触れるきっかけになるというか。若い人達が、島外から帰ってきてショチョガマをして、そしてまた島外に戻ったという話を聞きましたが、「これスゴイね」と言う風に、高校生が島の文化を体験、経験して、本土に出て行き、そして帰ってきてその伝統を継承していくきっかけを生むというか。そういう風に物知りのじいちゃんばあちゃんが少なくなった状況ではこういうのもいいかなと思いました。それと、電話でつないで話していたので、最初の内は標準語で話していたのが、だんだんなまりが出てきて、懐かしさができて「ああ、島んちゅだな」と思いました。島に同化していく、島の根底にあるものを忘れていないんだ、というか。そういうのを垣間見ることができたというか。こういう風に本土に出た方々、一度帰ってきた方々を見直す、そして自分たちを見直すというか。今までこの番組を一度も聞いたことがなかったのですが、興味が出てきました。

音楽的には若向きだと思いました。年代が上になってくるとチャンネルを変えたいかなと思いました。元ちとせさんの音楽が流れたところで繋がったのですが、チャンネルを変えないで聞いておられるような、そういう組み合わせのようなものが必要かなと思いました。

深田委員長

上野さんの口調とか、パーソナリティへのご意見などありますか？

和田委員

とても聞きやすかったです。言葉の質など。ただ、ちょっと声が小さくなる場所があったので、声のトーンによって聞きづらいな、というときがあったりもしました。

別府副委員長

私は、率直な感想としていい番組だと思いました。出だしの「イモリーナ、イモリーナ！！」という”つかみ”も、くつと上がる感じで好きですね。私は逆に、この番組は思いつき若い子向けでいいと思います。やっぱり、なかなかラジオを聴かない若い子たちが、「どうしたらラジオを聴くようになるのかな」と考えたときに、自分の知り合いがでるとか身近な話題がでるとか、またストーリー性があったりすると続けて聞くとし。違う世代の方々が「ちょっと(聞きづらい)・・・」と思っても、若い子たちがこの番組を聴くことによって、他の番組も聴いて、ラジオにつながっていく、そんなきっかけ作りになればいいのかなと。この番組に関しては、(若い子向けの)音楽もがんがんにかけてもいいと思います。そういう、「若い子たちにスポットを当てるといって」で上野さんが引き出している感じがして、聞いていて自分達も高校のとき、もしこんなのがあったら、「ちょっと昨日の聞いて～？(番組に)出たんだ～！」みたいにして友達としゃべったのかなと。島を出た人と、島を出ようとしている人の中継の場にもなっていて、本当にいいなと思いました。

あと、和田さんもおっしゃったように、島の伝統文化のことで感動したのですが、「島のこと知らんと思ったから(ショチョガマに)行った」とか、すごいいいなと思いました。またそういうのを、「まだ行ってないの？」とか、自慢みたいなノリでまたつながっていくのかなと。そんな感じがしました。

深田委員長

一時間の番組ということで、こういったコーナーがあったら、みたいなのは、特にないでしょうか？

別府副委員長

電話ゲストも含めて、ゲストなどももっとあっていいと思います。もっともつとしゃべる場というか。

泉委員(欠席のため、文書にて提出されたものを深田委員長が代読)

出席の予定でしたが、名瀬小学校の創立140周年記念式典とかぶってしまい、学年会長をしている立場上そちらを優先しなければならなくなり、欠席させていただきます。

さて、「イモリーナ×イモリーナ」についてですが、世代を超えてシマツチュをつなごうのコンセプトのようですが、高校生生話の話題では、高校生だけの話で完結しているように思いました。せっかく伝統行事に入った話だったので、参加された他の世代の話も聞けると面白いように思います。

また、どんな単位で話題を変えているのかわかりませんが、例えば月単位で、(4回)シリーズものの企画などがあってもいいのではないかと思います。年間を通して不定期シリーズとか。

深田委員長

感想として、まず第一に思ったのが、今後育てていく番組だなということです。今年4月からスタートしている番組なので、今から足したり肉付けしたり、どんどん変換して行って出来上がっていく番組だと感じました。今、

(ディ事務所の1階にある飲食店)ASIVIでも、「卒業前の高校生をコンサートに呼んで巣立って行ってもらう」という、島から出て行く高校生をつないでいこうという試みを数年前からしていると思いますが、そういうのとリンクするのかなと、「思い」を感じました。

内地と島を結ぶ、いろんな番組がある中でも、「内地と島を結ぶ」という意味ではいい番組ではないかと。

今後島を出て行く中高生をターゲットとしているということで、お金の話になりますが、今後番組が育ってけば、島外に物を売るスポンサーなどがついてくれないかなと思いました。例えば焼酎メーカーなど。番組で出ていた(ことによりその商品を知った)などで、島外でのひいきの銘柄になったりするかもしれません。

聴いていて思ったのですが、中高生など、ネットが当たり前になっている世代をネットネイティブというのですね。ラジオをやりながらも即、メールで返信がきて、というスピードに驚きました。昔はハガキを書いて、送られてきたのを読んでいたのに。パーソナリティが話している間にどんどんメールが来て。そのスピーディーさに可能性を感じました。

一点、こうしたらもっと良くなると思ったところが、上野さんと電話でインタビューをしていた女性の方との話なのですが、上野さんはプロなので途切れなく話せますが、インタビューに答えている方は、間に空白、というか無言になってしまう時があり、最大で2秒ほどの間が伸びてしまうこともあったのですが、その時に、その後に会話の中で出ていたオルゴールの音楽でもいいので、薄く流してしておけば、合間あいまの空白にがうまく埋まり、逆に味が出るのではないのでしょうか。つまりつまりでも、一生懸命答えている感じが逆にプラスに働くと思うので、止まったのかなとも思わないですし、オルゴールの音も良かったので、入れてみたりするのもいいのではと思いました。

今後育てていく番組ではないかと思うので、何かしら応援したりしながら、いい番組に育てばいいなと思いました。

(3) その他の意見など

深田委員長

ひととおり委員の方からありましたが、技術のほうから何かこの番組に対する補足などありますか。

一放送局 元井より

この番組について、自分は今は完全にオペレーターとしてやっていますが、最初は(ディレクションに)携わっていた部分もあったので、そのあたりの補足と、裏側の話なのですが、「世代を超えた」というのは便宜上つけたコンセプトで、「世代」というのも10代から30代ぐらいの、島に帰ってくるか帰ってこないかという人たちでなにか出来たらな、というのがあって。そのあたりが、島だどうしても一度外にでるので分かれてしまう、途切れてしまうイメージがあるので、そこら辺の世代をうまくつなげられたらというのが、当初思っていたコンセプトだったのですが、確かに、「世代を超えて」というと大きく出た感があるな、と皆さんのご意見を聞いていて思いました。他のいいフレーズがあればと思います。

深田委員長

要は、一度島を出て、島に戻った30代や、もしくは今現役でがんばっている30代、今から島を出ようとする10代を結ぶ、という意味ということですね。確かに言われたら納得、という感じがします。

一放送局 中原より

さっき深田さんがおっしゃった、内地と島を結ぶ、という言い方をされたのも、ちょっと近いかなと思いました。

向こうからみた景色だったり、こっちから見たものだったり。

以下複数の委員により出た意見

- ・向こうで友達ができるかできないかというエピソードなどもリアルで、いいお話だなと思いました。
- ・島を出て、一旦向こうで就職して、30歳ぐらいで島に帰ろうか、このまま留まろうか、というひとつのワンクッションがあるのではないかなと思うので、ちょうどそんな時期の世代が、ラジオを聞いて「島に帰ろう」というきっかけになったりすればいいなと思います。
- ・懐かしさを感じて、また聞きたくなる40代なんかの先輩方がいるかもしれません。
- ・自分も昔内地にいる頃、島から送られてきた荷物に入っていた新聞紙を見ていました。包んでいるやつ。そういう番組になるといいですね。

私は荷物を送るとき、わざと島の新聞に包んで送っていましたよ！

- ・前回出演していた子が、「寂しい、島に帰りたい」とか言っていたのが印象的でした。

一放送局 元井より

ダイヤ君とセイヤ君が平瀬マンカイに行ったのは、正直(パーソナリティーの)となりで聞いていてびっくりしました。もっと興味ないのかなと思っていたので。行く子達もいるんだという発見になったというか。

放送時間ですが、聞きやすいところを考慮したのですが、エフエムせとうちの番組との兼ね合いなどもあり、この時間帯、この曜日でおこなっているということもあったのですが、よりよい日時があれば、今後移動するもありかなと思っています。

- ・基本的にエフエムうけんやエフエムせとうちには、あまみエフエムが全部流れているということではないのですか？

一放送局より

全部は流れていません。それぞれの自主放送の枠があります。朝・昼・夜のあまみエフエムの生放送は流れていますが、それ以外は選んでもらっています。エフエムうけんはエフエムうけんで、エフエムせとうちはエフエムせとうちで、それぞれ作成した放送を流しています。例えば朝・昼・夜と同じものを再放送で繰り返す、というような感じです。

- ・もったいないね。
- ・イモリーナ×イモリーナは、昼に聞きたいと思います。夜9時は家に帰っているので、日中の運転の時間にききたいです。子供がいる世帯はなかなかその時間、家では聞きづらいので。

一放送局より

再放送になるかもしれませんが、昼もありかなと思います。

深田委員長

(番組をディレクションしている)上野さんより何かありますか？

一放送局 上野より

元井からあった話より重なる部分もあるかとは思いますが、あまみエフエムとしても、中高生をねらったアタックというのは今までなかったことがあり、アタックしても反応があるのかなのか、探りながら4月にスタートしました。ちょっとメールが来た子に直接電話をかけたり、ダイレクトにやりとりをしたりしています。それは奄美じゃないと出来ないことだなあと思いつつながら。そんな風にして、出演してくれた子に芋づる的に引っ張ってもらったり、文化祭

の音源を流したりとかしています。

皆さんのおっしゃっていた今後の育て方ですが、高校生の反応がこんなに短期間であるとは正直思わなかったの、もう少しテンポよくとか、もっとコーナー展開などもしたいと考えています。そして本当は大人の方にも楽しんでもらえる形にできたらいいなと思っています。40代やそれ以上の先輩方にも、今の中高生や、30代の世代はこんなことを考えているんだな、とちょっとでもおもしろがってもらえる仕組みづくりをできたらいいなと思っています。

ご報告なのですが、話題に出ていたダイヤ君とセイヤ君は、先月それぞれ大学の推薦入試を受けまして、昨日の放送で合格報告をくれました。そういうこともあって、その放送を聴いたリスナーさんが自分も娘のときのことを思い出したとご連絡を頂いたりして、あまり表面には出てきていなくとも、そうやって間接的にでも大人の方にもいっしょに楽しんでいただける場があったらいいなと思っています。

先ほど和田さんから島の伝統文化の話をしていただいたのですが、行事を行ってらっしゃる方々の声ということで大人の方に先生として出ていただくとか、そういうこともしてみたいと、皆さんのお話を聞きながら思いました。

(4) 次回の審議会について

深田委員長

では議題の4に進みますがよろしいでしょうか。

一放送局 元井より

次回のサンプルCDでお渡ししているのが、朝10時のディ！お茶ど！です。3時のディ！お茶ど！はよく聞くとおもいますが、10時にもお茶ど！をやっています。全て収録のみで、生放送は、開始以降一度もないのですが。コンセプト的には、3時のお茶ど！が休憩時間ということで、午前中にも10時に休憩時間をいれようということで、休憩をしている人達に楽しんでいただけたら、と思っています。基本的に再放送が多くて、前の週の「英会話のOVA(あまみエフエムの番組)」や、もう少しでお昼ご飯の準備をする時間ということで、奄美の郷土料理や創作料理を紹介する「あらゆるじゅりよ」、前の週の「よみむんまんてい」、前の週のお特なランチ情報、「ひまばんアラカルト」という、これは前の週にあったときはあって、ない週は入っていないというものですが、休憩を終わって動き出す方も多だろうと、最後に交通情報という形になっています。

あまり手を加えず、内容が変わっていないということで、休憩の時間になんとか流れているな、ということでやってきたのですが、他の番組も充実してきているのでここで一度見つめなおしてみたいと思って、聞いていただければと思います。

パーソナリティーは元井と沖元です。ただ、録音です。2年前ぐらいに収録し、そのまま進んでいます。

最近、夕方フレンドの再放送が、前週のものから前日のものに変更したりしている中、「英会話のOVA」はよく考えたら一週遅れでながしているな〜とかあったりする。10時にもっとふさわしいものになればいいなと思っています。

深田委員長より

(渡されたCDのサンプル)番組の共通認識として、1週遅れの情報ということで委員のみなさまに聞いていただけたらいいのですね？

一放送局より

その通りです。実は、「英会話の OVA」に関しては、夕方の本放送より、10 時のお茶どでの再放送のほうがよく聞いている人が多かったりするという情報もあります。

浜地委員

ところで、今日の 3 時のお茶ど！を聞いていて、渡陽子さんは歴史に詳しいと知りました。陽子さんが歴史の話をする番組なども面白いかもしれませんね。今日は赤穂浪士の話をしていました。

和田委員

昔は、12 月になると、毎日のように祖父母や親から赤穂浪士の話が聞かされました。また、普通に友達同士で「吉良の首をさがしにいく」といった遊びをしたりしました。

12 月の風物詩のようなものでもあるんですね。

中村委員

昨日のイモリーナ×イモリーナを聞いていて思ったのですが、上野さんはいつも「*ありがっさまりょん」を多用するのに、昨日は「*ありがっさまりょうた」ばかり使っていたのは何か意味があるのですか？

(*注:「ありがっさま」は方言で「ありがとう」の意)

一放送局 上野より

いえ、昨日の放送で特に使い分けていたということはなかったつもりです。たまに「ありがっさまりょん。」とは(一般的には)使わない表現なので、リスナーさんより直すようにというご指摘を頂くことはありますが。

中村委員

自分もその派です。あまみエフエムが始まってから、あまみエフエムが教科書になり、若い子がメールでも「ありがっさまりょん」をよく使うのですが、南部(中村委員は大和村在住)の人間からすると、あまり言わないなあと思っていたのがあります。

一放送局 上野より

以前にそうやってリスナーの方からご指摘いただいたときに社内でも相談し、「りょん」が「です」、「りょうた」が「でした」、という認識を持ちつつ、話すようにはしています。また、使わない地域もあるということも認識しています。ただし違和感があるときはご指摘をいただければと思っています。

中村委員

あまみエフエムの CM で、「ありがっさまりょん」と言っていましたよね。龍郷や笠利では「ありがっさまりょん」というのでしょうか。

一放送局 中原より

「ありがっさまりょん」ではなく、「ありがっさまありょん」ですね。それが「ありがっさまりょん」に聞こえてきたのかもしれないですね。

中村委員、和田委員

「ありがっさまありょん」であれば、よく聞くのだけでも。現在形で「ありがっさまありょん。」と。

(笠利・龍郷出身の数名の若い知人の名前が挙がり)若い子達がよく使っているのかもしれませんが。あまみエフエムのCMで流れていた「ありがっさまありょん」が、かわいいという話がありました。そういった影響もあるのかもしれませんがね。

ートシユムタ(奄美の方言とその他の言葉が混じった言葉)みたいな、新しい方言で、流行ってますよね。

ー放送局より

「ありょん」にシフトしていった方がよいでしょうか。

ーほんとうはね。でもそういう意味では、あまみエフエムが新しい言葉を作ったんじゃない？(一同、笑)

放送局、委員一同

ありがっさまりようた。

次回の番組審議会を2月8日金曜日、18:30 からに決定し、閉会する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成 25 年 1 月 12 日(土曜日) 6:00 から放送
- ② 書面の備置き:平成 25 年 1 月 12 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成 25 年 1 月 12 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし